

KBルーフ500

■屋根30分耐火構造 FP030RF-0502 FP030RF-0550
FP030RF-0819 FP030RF-0820



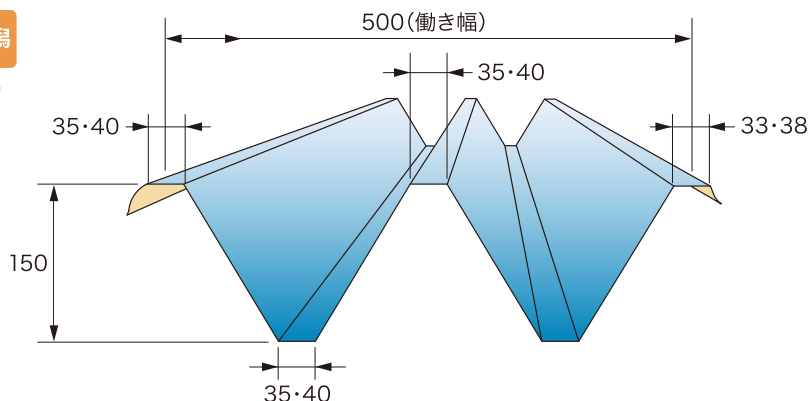
特長

- 2山で中間ボルトの締結数が少なく、山高150mmと高く強度・経済性に優れています。

製品図

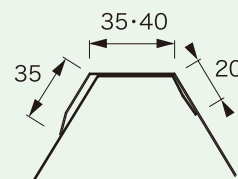
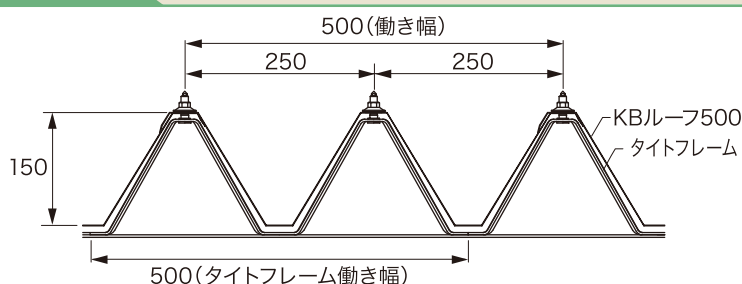
単位:mm

関東 BL	東北 BL	信州 BL	新潟
40	40	35	40



施工断面

単位:mm



製品仕様

原板幅	914mm
適正板厚	0.6~1.2mm
使用材料	GL鋼板、フッ素鋼板、アルミめっき鋼板、他
適正勾配	3/100以上
自然曲率半径	200m以上
m ² あたり必要m	2.00m

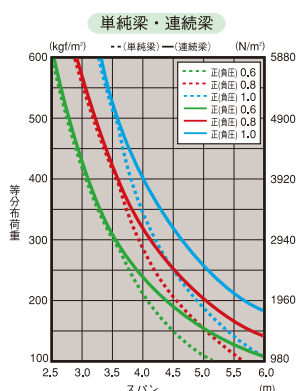
※勾配3/100未満についてはご相談ください。

断面性能

GL鋼板

板厚	単位重量		正圧・負圧同値	
mm	kg/m	kg/m ²	Ix(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)
0.6	4.49	8.98	259	34.4
0.8	5.92	11.84	345	45.9
1.0	7.36	14.72	432	57.4

許容梁間(参考)



単純梁

$$\delta = \frac{5wl^4}{384EI} \leq \frac{l}{300}$$

$$\sigma = \frac{wl^2}{8Z} \leq 1400 \text{ kgf/cm}^2$$

片持梁

$$\delta = \frac{wl^4}{8EI} \leq \frac{l}{200}$$

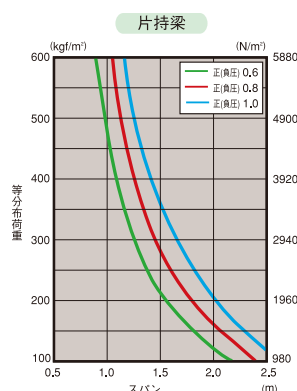
$$\sigma = \frac{wl^2}{2Z}$$

連続梁

$$\delta = \frac{3wl^4}{384EI} \leq \frac{l}{300}$$

$$\sigma = \frac{wl^2}{8Z} \leq 1400 \text{ kgf/cm}^2$$

δ=たわみ量 (cm)
l=スパン (cm)
W=等分布荷重 (kgf/cm)
σ=曲げ応力度 (kgf/cm²)
E=ヤング係数 (2.1×10⁶ kgf/cm²)
I=断面2次モーメント (cm⁴/m)
Z=断面係数 (cm³/m)



●上記の許容梁間は断面性能による計算値に、正圧・負圧に対するタイトフレームの強度を加味したグラフです。●許容スパン長さは、折板山高の25倍以内でご検討下さい。
●折板の軒のはね出しは、出来るだけ折板山高の7倍以内でご検討下さい。また、壁際に樋落とし口を設ける場合は軒出しは短くして下さい。●多雪地域や強風地域でのご使用には設計荷重を十分ご考慮下さい。

Note 付属部品は、P43~P48をご参照ください。

ホームページ <http://www.kyowa-kb.co.jp/>
最新情報の閲覧や製品CADデータのダウンロードが行えます。

重ね式折板